

SSIS コミュニティ活動(趣味の会)

「清澄庭園(深川)と富岡八幡宮(門前仲町)を歩く会」(報告)

SSIS文化活動委員会

松尾芭蕉が1680年に深川の草庵に移り住み、1694年に没するまで、この地を拠点として奥の細道に旅立った。また、清澄庭園は三菱創始者の岩崎弥太郎が造園したものである。同庭園より徒歩15分に位置する江戸勸進相撲発祥の神社で江戸最大の富岡八幡宮の門前町として発展した門前仲町界隈を散策した。

記

日時: 令和元年11月8日(金)(小雨決行)

午後1時30分集合～懇親会の後、解散

散策経路:

清澄白河駅(メロ半蔵門線)-(700M)(徒歩15分)-江東区芭蕉記念館(滞在15分)-(200M)(徒歩5分)-芭蕉庵史跡展望庭園-(400M)(徒歩10分)-平賀源内電気実験の地-(500M)(芭蕉俳句の散歩道)(徒歩15分)-採茶庵跡-(500M)(徒歩15分)-深川江戸資料館(滞在30分)-(400M)(徒歩10分)-清澄庭園(滞在30分)-(800M)(徒歩15分)-成田山深川不動堂-(200M)(徒歩5分)-富岡八幡宮-(200M)(徒歩5分)-八幡橋-(200M)(徒歩5分)-力士像と伊能忠敬像

(所要時間:約3時間)

参加者:(順不同、敬称略)

伊藤 達、内山雅博、竹下晋平、藤井嘉徳、真鍋研司、福田 弘、中田靖夫、山崎俊行、野澤滋為・恭子、高橋令幸、石川静香、一島 亨・恵子、(14名)

7月2日(火)の雨天順延を受けて、石川幹事の完璧な準備の下で快晴のなかを実施した。

清澄白河駅—江東区芭蕉記念館(滞在15分)—芭蕉庵史跡展望庭園—小名木川



—小名木川—



—深川芭蕉通り—



—江東区芭蕉記念館—



—平賀源内電気実験の地—



仙台堀川に沿って芭蕉が“奥の細道”で詠んだ18句を掲示する“芭蕉俳句の散歩道”をのんびり歩きながら元禄2年、奥の細道へ旅立つ直前まで芭蕉が住んでいた“菜茶庵址”で全員写真を撮る。



—菜茶庵跡での全員写真—





—深川江戸資料館(滞在 30 分)—



—清澄庭園(滞在 30 分)—

清澄庭園の素晴らしい景色に疲れも吹っ飛んで、この後、歩みのペースが一転活発になって成田山深川不動堂まで一直線。初酉を祝う甘酒をいただき一同元気いっぱい。



—成田山深川不動堂—



—神輿庫・富賀岡八幡宮—

富岡八幡宮では折から11月10日の“天皇祝賀御列の儀”に参加するためのけいこに励んでいた。

懇親会

門前仲町 魚三昧 “芳志”

東京都江東区門前仲町 1-7-5/03-3820-7568

参加者;(順不同、敬称略)

真鍋研司、伊藤 達、福田 弘、中田靖夫、藤井嘉徳、内山雅博、山崎俊行、野澤滋為・恭子、石川静香、高橋令幸、島 亨・恵子、(13名)

カウンターに小上がり、堀こたつ式の居心地のいい造りで3、40席もあろうか新鮮な魚のメニューが並んでいる。次々に運ばれる料理と酒に話が弾んだ。



—“芳志”での懇親会—



—IBM 箱崎—

いい気分でみな帰路についたが、隅田川の向こうには、まだ、現役の方々が働いている IBM 箱崎が輝いていた。

担当:石川静香 090-1902-3359

(文責 島 亨)